ＪＲ連合
総がかりの運動を
強く広く
展開しよう！

JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

日本鉄道労働組合連合会
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
TEL（NTT）03-3270-4590（JR）057-7848
FAX（NTT）03-3270-4429（JR）057-7849
1部20円（但し組合費に含む）
●発行者／松岡裕次　●編集者／中村鉄平
facebook JR連合
twitter JR連合

2019春季生活闘争【グループ労組】すべてのJR関係労働者のあるべき労働条件を実現する

22単組妥結　9単組でベア獲得

2019春季生活闘争においては、JR7単組が妥結し、うち5単組でベアを獲得した。また、バス・船舶関係などの地本・支部・分会でも7機関中、4機関で妥結し、定昇確保や夏季手当、制度改善など多くの成果を引き出した。

一方、グループ労組においては、2月13日にJRグループ労組連絡会2019春闘総決起集会を開催し、加盟するグループ93単組一丸となった春季生活闘争にむけた意思統一を図った。

4月9日時点での報告では、グループ労組93単組中、74単組が要求書を提出し、うち妥結は22単組に達し、9単組がベアを獲得するなど、総合生活改善に資する成果をあげている。

JR連合は、JRで働くすべての労働者のあるべき労働条件の実現にむけて、最後まで各単組の取り組みを支援していく。

神戸CS労組【3月7日妥結】
・時給引き上げ20円
・年度末一時金
・報労品の支給

JR西日本交通サービス労組【3月12日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　2000円
・夏季手当　2・2ヵ月
・マネージャー手当の増額
・A社員、B社員の給与体系・年間臨給の統一
・JR社宅借受促進キャンペーン引越費用負担

京都駅観光デパート労組【3月14日妥結】
・年間臨給　4・4ヵ月（夏季1・76ヵ月、年末2・64ヵ月）

JR西日本カスタマーリレーションズ労組【3月15日妥結】
・時給引き上げ
・年間臨給　3・1ヵ月（主任以上は3・4ヵ月）
・精勤手当（契約社員）
・慰労一時金
・特殊勤務（泊勤務）手当支給額統一
・職務手当新設
・契約社員の社員登用制度新設

ジェイアール西日本デイリーサービスネット労組【3月15日妥結】
・定期昇給　実施
・年齢給改定
・調整給増額
・夏季手当　2・41ヵ月
・店長特別手当増額
・保存休暇累積日数の引き上げ
・半休制度の使用事由拡大
・定期健康診断の受診項目拡大
・帰省旅費見直し
・嘱託社員待遇改善

JR四国ホテルズユニオン【3月15日妥結】
・定期昇給　実施
・超過勤務手当（公休日を除く）の時間単価改定

JR徳島駅ビル開発ユニオン【3月15日妥結】
・年間休日増（98日→104日）

ジェイアール西日本商事労組【3月18日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1000円
・年間臨給　5・04ヵ月
・職能給昇給遅減率改正
・退職金制度改正
・フレックスタイム制導入

ジェイアール西日本福知山メンテック労組【3月19日妥結】
・定期昇給　実施
・年間休日増（72日→84日）
・年間総労働時間短縮（5分／日）

JR西日本レンタカー&リース労組【3月19日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1000円
・夏季手当　1・7ヵ月＋50000円

ジェイアール西日本マルニックス労組【3月20日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1000円
・時給引き上げ10円
・企業内最低賃金改定（大阪府946円、それ以外900円）
・年間臨給　4・3ヵ月＋90000円
・年度末手当
・年間休日増（108日→112日）
・配偶者に対する人間ドック受診料の補助制度新設
・運転免許取得費用の補助制度新設
・リーダー、チーフ手当増額

JR西日本山陰開発労組【3月22日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1000円
・時給引き上げ
・夏季手当　2・4ヵ月

ジェイアール西日本米子メンテック労組【3月22日妥結】
・定期昇給　実施
・年間臨給　4・2ヵ月
・年度末一時金
・通勤手当増額
・人間ドック受診制度新設

ジェイアールサービスネット岡山労組【3月25日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　500円
・時給引き上げ5円
・夏季手当　2・4ヵ月
・半休制度の使用事由拡大
・年始手当支給対象日拡大
・パート社員に対する評価制度導入

ジェイアール西日本岡山メンテック労組【3月25日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　400円

JR九州バス労組【3月26日妥結】
・定期昇給　実施
・シニア社員基本給引き上げ
・ミッドシニア社員時給引き上げ
・脳ドック受診費用の補助制度新設
・女性社員宿泊施設の改善

ジェイアールサービスネット福岡労組【3月27日妥結】
・定期昇給　実施
・夏季手当　2・41ヵ月
・住宅手当改善
・家族給（2人目以降の子）の増額

広成建設労組【3月28日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1000円
・年間臨給　2・5ヵ月
・臨時一時金
・社員旅行の会社負担増額
・入社3年目までの社員への制服貸与数増加

大鉄工業労組【3月29日妥結】
・定期昇給　実施
・ベア　1200円
・年度末一時金

JR九州ハウステンボスホテル労組【3月29日妥結】
・定期昇給　実施
・夏季手当　1・25ヵ月
・管理監督者の対象見直し
・忌引休暇日数見直し

ジェイアール四国メンテナンス労組【4月5日妥結】
・定期昇給　実施
・雇用形態変更時の基準内賃金（日額）引き上げ
・月給・日給・時給引き上げ
・年度末一時金
・賃金計算期間の改正
・基準外賃金の整理
・一時金計算期間の改正
・洗浄作業手当、班長代行手当増額

JR北労組 2ヵ月連続で新たな仲間

3月19日、JR連合加盟JR北労組は五稜郭車両所で働く仲間を迎え入れた。函館地区本部の日頃からの世話役活動や民主化闘争の取り組みが実を結び、北鉄労から脱退しJR北労組に加入するという勇気ある決断に至った。2月の自動車支部に続く朗報に、今後ますますの組織強化・拡大につなげていくべく、波及効果を生み出していかなければならない。

JR連合は加盟単組とともに、JR労働界の一元化にむけて、さらに勢いをつけながら取り組みを進めていく。JR連合への総結集を果たしていこう。

第19回統一地方選挙 前半戦全員当選の勢いで後半戦必勝にのぞむ

4月7日、第19回統一地方選挙の前半戦の投票日を迎え、道府県議選、政令市議選に出馬したJR連合地方議員団連絡会所属候補者をはじめとする推薦候補全員が当選を果たした。

さらに、4月14日に市議選、16日に町議選の告示から、21日の投開票日にむけた選挙戦が繰り広げられる。

JR連合はこの間、加盟単組と連携し、各選挙の推薦候補者全員の当選に一丸となって取り組んできた。

前半戦での全員当選の結果を勢いそのままに、後半戦にのぞんでいく。

統一地方選挙での勝利を7月に執行される第25回参議院議員選挙の必勝につなげていかなければならない。最後まで、一丸となって全力で取り組んでいく。

菅原和忠氏（北海道議会）

河合洋介氏（愛知県議会）

梶原英樹氏（京都府議会）

柿本忠則氏（広島県議会）

山本悟史氏（香川県議会）

【推薦候補】　4月21日投票

道・県	議会名	候補者名
北海道	小樽市	林下　孤芳
北海道	池田町	春井　良夫
福岡県	大牟田市	松尾　哲也
福岡県	田川市	石松　和幸
福岡県	糸田町	松瀬　征行
熊本県	人吉市	宮﨑　保

特集

民主化闘争52
自らを肯定化するための地方選・参院選の支援

4月8日、JR総連は、統一地方選挙の前半戦（4月7日投開票）での推薦候補の当落を報じた。統一地方選挙にむけては、北鉄労やJR東労組が機関紙などで推薦候補者を明らかにしてきた。組織瓦解が進む中、支援する目的は他でもなく、公の場で自らの組織を肯定化・正当化するためだ。

JR東労組は「緑の風号外」（3月18日付）で推薦候補者60人超の氏名を掲載したが、うち7人が組織内・準組織内候補で、中には、「JRひがし労」の結成準備段階で新書記長に就任すると目されていた人物も含まれた。大量脱退以前は、各地域にJR東労組の組合員数が相当数存在し、一定の票田として、地方議員との関係を築いてきたものと思われる。しかし、組合員数が激減した地本などでは、推薦したところで実質的には以前のように票を積み上げることが出来ないことが容易に想像される。

この間、政府や警察公安当局からはJR総連・JR東労組への革マル派浸透の実態が指摘され続けている。そうした中でも、最高裁判決で有罪が確定した浦和電車区事件を「えん罪」と強弁することをはじめ、JR各社の「企業体質を暴き出す」との考えに基づいて、自らの正当性を主張する活動に注力してきた。そのため、応援団としての地方議員との関係性を重要視しているということだろう。

一方、北鉄労は「FAXひびき1845号」（2月12日付）で、北海道議会議員候補をはじめ30名の推薦を明らかにした。JR北海道が単独維持困難線区の問題を公表して以降、北鉄労は国鉄改革のスキームが問題であり、国が責任を持ってJR北海道に公的資金を投入すべきという主張を繰り返してきた。今後、推薦候補を通じて各議会での主張を繰り返し、あたかも北海道の民意であるかのように展開する動きが一層活発化することが想定される。

政府答弁で「革マル浸透」JR総連出身議員が"必殺仕分け人"だと!?

田城氏は議員時代も「革マル浸透」組織出身が取り上げられている（「週刊文春」2010年9月2日号より）

また、JR総連の榎本委員長が2月1日の第41回定期中央委員会の挨拶で7月の参院選について触れ、「参院選の比例区では、連合執行委員会の確認事項を守り、国民民主党5人、立憲民主党5人、計10人の候補者を応援します。これまで通り党よりも候補者個人との関係を重んじ、…連帯して応援していきます。この10人の候補者を擁立している産別から私達への支援要請はありません。それが今のJR総連に対する評価だということを改めて自覚していただきたい」と述べた模様。しかし、聞くところによると、支援の申し出を複数の産別などに持ちかけたが、断られたようである。

同委員長は雑誌のインタビューに、JR総連副委員長の田城郁氏について「現時点では比例区の次点（2015年参院選比例区当選次点）ですので、後援会も存続しており、先ごろ総会を開催して新体制を決定しました。繰り上げ当選した場合に対応できる体制は整えています」と、繰り上げ当選の可能性の高まりを示唆した。3万人を割り込んだJR総連の組織人員では新たに国政に送り込む余裕がなくなった以上、繰り上げ当選に一縷の望みを託している状況である。

今後、地方議会や国会において、JR総連の一方的な主張が展開されることがないよう、包囲網を張り巡らし、対処していかなければならない。そのためにも、JR連合は、地方議員団連絡会所属議員や推薦候補者の必勝にむけて取り組みつつ、連合内産別とも連携し、地方政治、国政への働きかけを強化していく。

役員紹介

貨物鉄産労 北海道地区本部
執行委員長
菊地克敏さん

北海道地区本部で執行委員長を仰せつかっている菊地克敏です。職場は北海道で唯一の車両所である苗穂車両所に勤務しています。

私たちは、安全の確立を運動の最重要課題と位置づけています。苗穂車両所では1990年2月に特急列車に触車、死亡労災事故が発生。さらに、2017年の九州千早操作場での死亡労災事故以降、根絶に向けた取り組みをしていましたが、北海道で今年1月あわや死亡労災になりうる運転支障（危険事象）が発生しました。あらためて自分達の職場を検証し、「労災は絶対に起こさない」という強い意識で取り組んでいかなければ、自分の命を守る、仲間の命を守る、家族の笑顔を守ることもできないと痛感しています。悲惨な事故を二度と繰り返さないという強い決意と自分たちが安全で安心して働き続けられる条件を確立するためにも、運動の先頭に立ち行動していきたいと思います。

また、私たちは「一つの目標に対し、みんなが共有し、何でも話し合える、ストレスの無い楽しい組合にしよう」を基本に取り組んできました。これを目に見える形で実践し共感してもらうことが、他労組組合員が脱退を決意する原動力になると信じています。

この間、勇気を持って加入してくれた仲間のためにも、JRになって加入してきた組合員に何を引き継ぎ、何を残していくのかが、大きな課題です。北海道地区本部も全国の仲間のみなさんと共に安全の確立、民主化闘争完遂、組織拡大にむけ奮闘していく決意です。

最後に、私の趣味・楽しみとして、動物園巡りが大好きで、夫婦で時間があれば動物園を訪れています。全国には、約100の動物園があるようで、まだまだ先の長い話ですが、目標は全国の動物園を訪れたいと思っています。そのためにも安全第一、健康第一で頑張っていきます。

第3回青年・女性委員会 幹事・地協代表者学習会
労働組合の役割や必要性を浸透

まっとうな労働組合としてのあるべき姿を共有し、今後の活動に活かしていく

JR連合青年・女性委員会は、3月31日、都内において「第3回JR連合青年・女性委員会幹事・地協代表者学習会」を開催し、各地方協議会役員も交え、13人が参加した。

今回のテーマは「組織について学ぶ」として、JR連合から中山耕介組織・政治部長、JR東海ユニオンから山本康平組織部長を講師に招き、講演を受けた。中山部長からは「あるべき労働組合像・労使関係像」について、この間のJR労働界の激動と現状を踏まえた説明を受け、あらためて労働組合の本来の役割や必要性に理解を深めた。さらに、山本部長は、支援単組の活動としてJR北労組函館地区本部との連携した取り組みのもと、北海道・函館の地において、新幹線職場ではじめての組織拡大を成し遂げた際の具体的なエピソードなどを語った。個人的なつながりを持ち、信頼関係を築いていくことの重要さ、そして何より函館地区本部の日頃からの世話役活動が実を結んだことについて、参加者たちは自らの役員としての活動を振り返りつつ、話に聞き入った。

青年世代はJR連合運動の明日の原動力として、重要な役割を担っている。今後の青年女性役員として活躍にむけて、今回学んだ内容を活かすとともに、さらなる成長につなげ、JR連合の次代を担っていかなければならない。

JR連合は、引き続き青年女性活動を活性化しつつ、JR連合の取り組む組織課題や政策課題への理解浸透と共有を図るべく、諸行動を展開していく。

2019年度新入社員にむけた歓迎行動
ともに遊び ともに学び ともに成長しよう

大宮市内で行われたJR東日本入社式会場前での歓迎行動

札幌市内のJR北海道社員研修センター前での歓迎行動

JR連合は、4月からJRに入社する仲間にむけてホームページ上でメッセージを発し、JR最大の産業別労働組合として、JRの発展と組合員の幸せを考える責任ある労働組合であることを表明したうえで、青年女性委員会の活動を伝えた。

◇

4月1日、JREユニオンは、JR連合及びJR東海ユニオン、JR西労組とともに、大宮駅前において、JR東日本入社式に参加する新入社員への歓迎行動を実施した。1000人を超える新入社員にむかって「入社おめでとう」と声を掛けながらJREユニオンのチラシを配った。

4月5日、JR北労組中央本部及び札幌支部は、支援単組であるJR東海ユニオン、JR西労組とともに、札幌市内において新入社員歓迎行動を実施した。JR北労組の取り組みと労働組合の意義を綴ったチラシを配布し、多くの新入社員が受け取った。あわせて、参加者のうち営業関係で学習会を開催し、さまざまな業務課題等について情報交換を図った。

◇

JR連合は民主化闘争完遂を果たすべく、あらゆる機会をとらえ、JR連合運動を広める取り組みを継続していく。